

第55回

京都スキー協議会定期総会議案書

2024年7月27日(日)

14:00~17:00

於 教育文化センター 203号室



第 55 回京都スキー協議会定期総会次第

司会者挨拶

1. 開会の挨拶
2. 議長選出
3. 祝電の紹介
4. 2023 年度活動報告および 2024 年度活動方針の提案
 - 2023 年度の取り組みと総括および 2024 年度の活動方針(案)
 - 技術・指導員部
 - 競技部
 - 企画部
 - 機関紙部
 - 安全対策部
 - 2023 年度一般会計決算報告および 2024 年度一般会計予算(案)
 - スキーマイト会計報告
 - 会計監査報告
5. 2023 年度活動報告・決算報告および 2024 年度活動方針・予算(案)に対する質疑
6. 2023 年度活動報告・決算報告および 2024 年度活動方針・予算(案)の採決
7. 第 55 期運営委員の選出
8. 新役員の紹介と代表挨拶
9. 議長解任
10. 閉会の挨拶

2023年度の取り組みと総括・2024年度の方針（案）

はじめに

昨年度の総会は現地参加とオンライン参加を併用しての開催となりました。新役員体制のもとで三役会議はオンライン、運営委員会は現地参加とオンライン参加を併用して毎月開催し、様々な行事などを企画してきました。

[1] 京都スキーとしての取り組み

(1) 京都スキー協主催の2大行事

「ウィークデーツアー」は、今年も参加者が少なかったですが、若干の赤字で何とか開催することができました。このツアーでのアンケートは今後活用していきます。

「京都スキーフェスティバル」は、今年も参加申し込みが少なく中止せざるを得なくなり、クラブ交流会としました。今後の開催に向けて再検討が必要です。

(2) 今後、様々な参加者を視野に入れた時、日帰りツアーなども京都スキー協の行事企画として検討する必要があります。

また、各クラブツアー企画を紹介し、クラブ間で交流がよりできるようにしていきます。また、クラブ合同スキーツアーの企画も出来るように検討していきます。

[2] 関西ブロック及び全国の活動について

(1) 関西ブロック学習交流会

昨年度の関西ブロック学習交流会は大阪が主管で9月9日に現地参加とオンライン参加を併用して開催し全体では70人、京都からは9人が参加しました。

今年は京都の主管で9月7日（土）に、会場は大阪で予定しています。

(2) 関西ブロック協議会

関西ブロックの行事にも積極的に参加して各府県との交流発展に寄与し、事務局長を担うなど中心的な役割を果たしています。

(3) 全国理事会と全国総会・代表者会議

理事会や総会・代表者会議に参加してさまざま発信をしています。全国総会や代表者会議は予算化をしていますが、今年度も全国理事会、全国代表者会議はオンラインでの開催になりました。

(4) 競技部

全国競技大会や東海・関西ブロックの合同の競技大会（今年は練習会に）には競技部が中心に参加してきました。全国競技大会は、今年度と来年度は関西ブロックが主管になります。

(5) 技術部

関西ブロック技術委員会の牽引車としての役割を担い、技術向上に貢献しています。

(6) 山スキー部

今後も、関西ブロックや全国の企画の情報を知らせていきます。

[3] 新日本スポーツ連盟京都府連盟の活動について

理事を派遣して京都スポーツ連盟の取り組みにも積極的に参加し、京都のスポーツの発展に貢献してきました。今年度の総会には2人が代議員として参加し、スキー協議会としての意見を発信してきました。

[4] 専門部体制と専門部活動について

専門部体制や役割分担において、多くの部員がそれぞれ奮闘して今期も活動してきましたが改善すべき課題もあります。

(1) 広報・機関紙活動について

この活動は日常的な活動が伴い極めて重要です。任務荷重にならないように、体制を強化することは重要な課題の一つとなっています。今後も機関紙部の体制強化を重視していく必要があります。

機関紙活動としては、京都スキー協通信の発行や配布の活動があり、記事の収集、編集など多種多様な活動が組織的にこなせるようにしていかなければなりません。また、全国スキー協やスキーマイトなどへの投稿も必要です。

ホームページは体制づくりが定着して毎月更新ができています。各クラブからの報告を是非寄せてください。更に、要求に見合うように取り組んでいきます。

昨年度リーフレットは作成しませんでした。今後は発行を検討していきます。

(2) 専門部活動については各部から報告します。

技術・指導員部

競技部

企画部

山スキー部

機関紙部

安全対策部

スキーマイトに関する報告

(3) 決算報告と予算（案）の提案

[5] 会員拡大と組織の活性化のための方針について

様々な行事を成功させ新しい会員を増やしていくためには、各行事の中で会員拡大をすすめるとともに、各クラブ会員の周りにはスキー愛好家とどう繋がっていくのかが重要な課題となっています。毎年ホームページを見ての問い合わせがあります。

「スキー協議会」は、スキー界ではまだまだ一部の方しか知られていないのが現状です。様々な機会を利用してパンフレットの普及や、SNSを活用しての宣伝など、更に検討していく必要があります。

「今後の京都スキー協のことを考える必要があるのでは」ということで、運営委員会で何回か話し合い、委員のメンバーを選出してきました。これからも引き続き話し合いを続けていきます。各クラブからの委員の選出をお願いします。

世代継承を考え、若い世代とどうつながりをもっていくかが大切です。若い世代などが参加しやすい、休日を利用した日帰りツアーなども検討していく必要もあるのではと思います。各クラブでも、このことについて話し合いの場をもってください。総会でも、是非みなさんのご意見を伺いたいと思います。

京都スキー協の将来を見据えて、新たな人材を役員体制や専門部に補強するなど、後継者を育て世代交代をしていくことが重要です。

2023年度は5人増えましたが8人減り、この1年のトータルは「-3人」となり、今総会時点では「98人」になりました。

「150人」の京都スキー協を目標に、今期中に「120人」を目指していきます。

「来年度の総会までに各クラブで会員を1人増やす」「メイト1部増やす」ことを目標にします。

京都スキー協の一つ一つの企画を成功させることと、各クラブ行事を旺盛にすることが大切なことです。冬のシーズンだけでなく、オフシーズンもいろいろと企画し、年間を通じてクラブ行事を企画して、クラブ員と交流することが大切なことです。

技術・指導員部

～この1年の主な取組&行事～

- | | |
|---|---|
| <p>09/09 関西ブロック・オンライン学習交流会
主幹：大阪 総勢 70名 京都 9名</p> <p>09/10 技術・指導員部会
(ZOOM 開催) 出席者 7名</p> <ol style="list-style-type: none">1. 京都スキー協指導員会議について2. 京都スキー協指導員雪上研修について3. 今年度の技術・指導員部主管行事について4. 関西ブロックレベルアップ研修会について
(京都主幹)5. 京都スキー協主催の初級指導員検定会の実施について <p>10/01 関西ブロック初・中級指導員養成座学
◇ 京都府連盟事務所にて
受講者：京都から初級 2名</p> <p>11/10 全国技術部会
◇ 森田 ZOOM 参加</p> <p>10/29 京都スキー協指導員会議
(ZOOM 開催) 出席者 11名</p> <ol style="list-style-type: none">1. 関西ブロック会議報告2. 技術指導員部主管行事の開催計画について
◇ 研修会 1 2024/1/6(土)～8(月)
野沢温泉スキー場(森の会行事)
◇ 研修会 2 2024/1/13(土)～14(日)
八チ高原スキー場
◇ STT 2024/1/18(木) 岩岳スキー場
◇ 検定会 2024/2/17(土) 氷ノ山国際スキー場3. 理論研修
◇ スキー協の活動、組織運営と指導員の役割
◇ スキーの技術と指導法
◇ スキー事故の予防と対応
◇ 指導員規程第2条及び第6条について | <ol style="list-style-type: none">4. 2大行事計画について
◇ ウィークディスキーツアー 岩岳スキー場
2024/1/17(水)～19(金)
◇ スキーフェスティバル 梅池高原スキー場
2024/3/22(金)～24(日) <p>12/01 関西ブロック技術委員会熊の湯スキー場
◇ 参加 森田、小山、佐野</p> <p>12/02-03 中央研修会 熊の湯スキー場
◇ 参加者：森田、小山、佐野</p> <p>12/15-17 関西B指導員養成研修&初滑り
◇ 主管：滋賀 一ノ瀬スキー場にて
◇ 参加総数：59名
京都：13名(養成3、研修4)</p> <p>01/13-14 技術・指導員部会雪上研修会
◇ 八チ高原スキー場(雪不足のため中止！)</p> <p>01/17-19 ウィークディスキーツアー
◇ 岩岳スキー場 参加 26名 STT は悪天候により中止</p> <p>02/17-18 初級指導員検定会
◇ 氷ノ山国際スキー場 受検5名 合格2名
(雪おこし瀬戸さんが合格)</p> <p>03/23-24 スキーフェスティバル
◇ 参加少数のため中止(クラブ交流会を実施)</p> <p>04/05-07 関西Bレベルアップ研修&指導員検定会
◇ 主管：京都 一ノ瀬スキー場にて
参加総数：20名 京都4名(内事務局2)
検定5、研修7、レベルアップ5、ポール3
◇ 検定：初級4、中級1(合格：初1、中1)
京都：中級合格(藤岡)</p> <p>05/11 技術・指導員部会
◇ シーズンまとめ&総会議案討議</p> |
|---|---|

～活動のまとめと方針～

1. 活動のまとめと課題

特筆すべきこととして、中級指導員1名と初級指導員1名が新たに生まれたことです。昨シーズンからの挑戦で見事合格されたのは、本人の努力とともにクラブの大きな支えと京都スキー協の位置づけが実ったものです。これからの活躍に期待するとともに、後に続く人材の養成に努めていくこととします。

「ターン後半の足場を確保し、切り替え時に前に出てターンポジションまで行くことで谷回りターンにつなげる」をシーズンテーマとして3年目となります。一年目は、角付けでズレを止める足場づくり。二年目は、角付けに荷重を加え、三年目は、「ターンのポジショニング」についての再確認。「角付け」「外脚荷重」「ポジショニング」はパラレルターンの重要な3要素で、現テーマの集大成のシーズンとなった。

前項のシーズンテーマについて、「真下への横滑り」における外向傾による重心移動の重要性が見直されたが、雪不足の中で研修会が流れたりし、十分な研修とはならなかった。

2. 指導員に関すること

指導員養成と検定会

- ◇ 指導員養成座学の受講者は京都から初級2名あった。
- ◇ 京都スキー協開催の初級指導員検定会に5名(京都2名、兵庫2名、大阪1名)の参加があり、2名が合格した。(京都1名、兵庫1名)
- ◇ 関西ブロック検定会への京都スキー協からの受検者は、中級1名あり、結果は、みごと合格となった。

技術・指導員部の課題

昨年度は、京都から中級1名、初級1名の合格者があり喜ばしい年になったが、相変わらず指導員の高齢化や減少は避けられず、スキー協行事やクラブ行事の運営にも支障をきたしている。会員のレベルアップを図り、更に指導員を誕生させたい。

その他(指導員の現状)

- ◇ 指導員数：16名(上級1、中級4、初級11)内休止1名(初級1)
- ◇ 活動指導員の研修率 66.7%

3. 2024年度方針

指導員に関すること

指導員養成、研修をすすめるとともに、指導員のレベルアップを図っていく。

- ◇ 指導員を目指す方を増やすための取り組みを検討する。

指導員の研修率を高め、指導法の研鑽、技術の向上を図る。

- ◇ 指導員の理論研修は指導員会議において実施し、雪上研修会は1月の「指導員雪上研修会」を含め、開催方法を工夫し複数回の実施を検討する。
- ◇ 競技大会、デモ選考会やテクニカルコンペへの積極的な参加を促す。

京都スキー協として、初級指導員検定会実施の検討。

技術向上に関すること

教程の普及およびスキー技術・指導向上の取り組み

- ◇ 指導員会議などスキー技術・指導法の勉強会、指導経験の交流の場を設けていく。
- ◇ スキー協通信に技術欄を設け、スキー教程の普及、会員の技術向上に役立てる。
 - ホームページへの掲載も進めていく。
 - 技術・指導部員で記事の掲載を分担し、投稿も呼びかける。

会員相互のレベルアップのため、オフトレを計画する

- ◇ クラブ行事と連携し、スキーのための体づくり講習会などを企画部とも協力して実施していく。
- ◇ 怪我防止に役立つストレッチ講習や、イメージアップトレーニングなど。

4. 新役員体制

技術部長：森田 英二(森の会) 指導員部長：浅野 輝男(ハッピーターン)

部員：早川 佳緒里・望月 勉(シティ)・小山 孝夫・藤岡孝之(望峰)

星 幸敏・瀬戸享明(雪おこし)・佐野 薫(かぶりこーん)

5. 関西ブロック技術委員

森田 英二(森の会)・小山 孝夫(望峰)・佐野 薫(かぶりこーん)・藤岡孝之(望峰)

競技部の前年度報告と今年度方針 2024(案)

部長：坂下和修（バーディカル）

部員：刈谷拓爾、藤井努（バーディカル）、小山孝夫（望峰）

丸山和夫（雪おこし）、内藤栄子（森の会）

< 前年度活動報告 >

1. ポール陸トレ

日時：10月21日(土)14:00～16:30頃 場所：梅小路公園

参加：10名

小山、森田、矢吹、岡田、竹内、佐野、中山、刈谷卓爾、刈谷梓、坂下（敬称略、順不同）

2. 関西ブロック ポール練習会

2月3日(土)～4日(日) 氷ノ山国際、常設ポール、GS

積雪不足で中止となりました。一般講習で実施しました。

3. 京都スキー協スラローム練習会

2月6(火)～8日(木) 戸狩温泉スキー場

参加：4名 坂下、丸山、瀬戸、岡島（敬称略、順不同）

4. 第50回全国スキー・スノボ競技大会

2月24日(土)～25日(日)、24日GS2本、25日GS2本。湯ノ丸スキー場にて

23日(祝金): 前日練習。清澤恵美子さんがコーチ、セッター、講演など。

参加：7名 森田、佐野、小山、丸山、瀬戸、岡島、刈谷（敬称略、順不同）

5. 東海・関西合同競技大会 2024

3月9日(土)～10日(日) 野麦峠スキー場

積雪不足で「競技大会」「練習会」に変更されました。

参加：5名 森田、佐野、小山、坂下、刈谷（敬称略、順不同）

関西ブロックから20人が参加

6. 関西ブロックレベルアップ・指導員研修会・ポール練習会（主管：京都）

4月5日(金)～7日(日) 志賀高原スキー場

参加：2名 佐野、刈谷（敬称略、順不同）

< 今年度活動方針(案) >

1. ポール陸トレ

日時：10月19日(土)14:00～17:00 場所：梅小路公園

2. 関西ブロック ポール練習会

2月1日(土)～2月2日(日)予定、氷ノ山国際、常設ポール、GSの練習

3. 京都スキー協 GS 練習会

1月中旬頃 1泊2日 木曾福島スキー場 常設ポール、GSの練習

民宿ひまわり(食事は自炊可で費用を抑えられる)

4. 京都スキー協 SL 練習会

2月第2週 日帰り 白峰スキー場

SLの練習、簡単なセットから始めてSLに慣れる。

5. 第51回全国スキー・スノボ競技大会（主管：関西B）

2月22(土)～2月23(日)予定、湯ノ丸高原予定

6. 東海・関西合同競技大会 2023

3月中旬予定、場所未定

7. 関西ブロックのスプリングレベルアップ(主管：大阪)

4月初旬予定、志賀高原予定

東京スキー協のポール練習会に参加。

企画部の前年度報告と今年度方針（案）

企画部部长 早川（シティ）

企画部部員 浅野（ハッピーターン）、矢吹（森の会）、佐野かぶりこーん）、大久保（望峰）

<活動報告>

- 1、スキーの集い 10/22 低山ハイキング（深草大亀谷～桃山城）を実施した
参加者 6名
- 2、2大行事
ウィークデー 参加者 26名（会員15名、会員外11名）
 - ・若干の収支赤字となった
 - ・悪天候もあり乾燥室でのウエア乾燥ができなかった
 - ・宿からゲレンデの距離に不安があったが、軽トラでの往復運搬が好評だったフェスティバル 参加者集まらず、中止となった。 クラブ交流として有志での参加
- 3、その他
 - ・行事で、スキーはできるがコケると一人で立てない方への対応が指導員一人では対応できないため、“ゆっくり班”などの班分け項目に変える必要あり
 - ・アンケートのデジタル化により、回答/集計がスムーズになった

<活動方針案>

- 1、スキーの集い
低山ハイキング/オフトレなどの定期開催などを企画
- 2、2大行事（ウィークデーツアー・フェスティバル）について
課題 コロナ後再開したツアーの参加者減少からのツアー企画の再検討
 - ・ウィークデー 参加者の高齢化
 - ・フェスティバル 親子参加者の減少2大ツアーの今後のあり方について
1つにツアーをまとめて開催する（ツアー名の変更も検討したい）
日程案）2/14(金)～16(日)。梅池高原スキー場、サンライズ・タンネ。
ツアー内で、WAX講習会を開催するなど、参加者の興味を持てるイベントの検討
- 3、その他
京都スキー協議会を一般にPRするため、下記のいずれかを実施することを提案する。
 - ・京都スキー協の案内チラシ作成
 - ・京都スキー協の既存リーフ更新

- 機関紙部活動まとめと方針（案） -

< 2023年度の活動まとめ >

1. 「スキー協通信」と「スキー協ホームページ」の係について。
 - 「スキー協通信(以下通信)」と「ホームページ」の役割をどのように位置づけるかを模索してきましたが、ホームページは更新が安定してきたこととQRコードでホームページが閲覧できるようになったことをきっかけにその役割がより充実してきた反面、通信は編集会議ができなかったこともあってスキー協行事や各クラブの活動をタイムリーに掲載できませんでした。
 - 「通信」の発行は、No.279(9/26付)、No.280(1/16付)、No.281(4/16付)の3回でした。
 - 「ホームページ」は更新担当の中島さん(シティ)が毎月の運営委員会にオブザーバーで参加してから更新作業がスムーズに行えるようになり、スキー協の行事案内や各クラブの活動やクラブニュースの掲載も通信の発行を待たずに知らせることができるようになりました。
 - ホームページが、「QRコード」を通信に掲載することで閲覧がより簡単にできるようになりました。
 - SNSで中山さん(かぶりこーん)が立ち上げた「京都大人のスキー部」は投稿が少なく、現状ではあまり活用されていません。
 - 機関紙部でLINEグループをつくって連絡などをいっせいに伝えるようにしました。
2. 京都スキー協通信の主な内容。
 - No.279(9/26発行)：「第54回定期総会終える」「新役員体制」「2大行事の開催決定」「専門部活動」「クラブだより」「スキー技術」「行事案内」など。
 - No.280(1/16発行)：「スキー協関連行事」「中央研修会、関西B初滑りの報告」「専門部活動」「クラブだより」「スキー技術」など。
 - No.281(4/16発行)：「ウィークデーの報告」「ウィークデーツアー・アンケート結果の報告」「新スポーツ連盟京都府連総会の報告」「専門部活動」「初級、中級合格者関連」「クラブだより」「フェスティバル中止でクラブ交流に変更」など。
3. 今年度の機関紙部メンバー。
 - 部長:矢吹明弘(森の会)
 - 部員:浅野輝男(ハッピーターン)、中島剛(シティ)、森田英二(森の会)

< 2024年度の活動方針(案) >

1. 「通信」と「ホームページ」の係を生かしながら、よりスキー協の活動を知ってもらい交流のきっかけになるように努力します。
2. 機関紙部の体制を補強して作業をもっと分担できるようにします。
3. 機関紙部会や編集会議を定期的開催し、各クラブの通信担当者との連携も強めて、通信の安定した発行とホームページの定期的な更新につとめます。
4. スキー協技術理論の解説を、ひきつづき「通信」や「ホームページ」に掲載していきます。
5. ホームページをスマホでも閲覧しやすいようにリニューアルしていきます。
6. 通信の発行回数は、年間5回を目指します。

安全対策部活動のまとめ（案）

安全対策部

1. 各クラブに「安全対策担当者」をおく。
 - ・各クラブの安全対策部員の役割について、実態交流しながら具体的活動のイメージ作りが弱かった。どのような活動をされていたか集約をし交流をすればよかった。
2. 「安全基準」を広めていく方策を考える。
 - ・各クラブの要請に応じて配布した。
3. 運営委員会の議題項目に「安全管理」の項目を入れて頂き、ケガやスキー場環境等の状況の把握に務めていく。
 - ・運営委員会の議題項目に「安全対策部」の項目を入れて頂けた。
 - ・受傷者が出たときの実態把握が弱かった。
 - ・スキー協の会員（行事参加者を含む）のマナー向上に一定程度取り組めた。
 - ・より快適なスキーライフを進めていくための活動のイメージが持てず、なかなか進められなかった。
4. 上部団体へも働きかけながら、必要な学習（救急法等）を進めていきたい。
 - ・なかなか具体化することが出来なかった。
5. 各保険への加入を呼びかけると共に、各クラブの協力を得ながら保険の加入状況について実態把握をしていく。
 - ・クラブ員さんの各種保険等への加入を勧めた。
 - ・スキー協賠償保険の加入を勧めていく活動が弱かった。

<活動の方針（案）>

1. 各クラブに「安全対策担当者」をおく。
 - ・各クラブでの安全対策部員の具体的活動について集約をし交流を図る。
2. 「安全基準」手帳（冊子）を広めていく。
 - ・引き続きクラブの要請に応じて配布するとともに、行事等での参加者に配布し、普及していく。
3. クラブからの報告や運営委員会において、ケガやスキー場環境等の状況の把握に務めていく。
 - ・受傷者が出たときの実態把握をスピーディーに進め、教訓等を全体に返していく。
（報告書の活用）
 - ・引き続き、会員（行事参加者を含む）のスキー場でのマナーの向上に取り組む。
4. 必要な学習を進めていきたい。
 - ・上部団体へも働きかけながら、温暖化問題について進めたい。
 - ・救急処置法については、各自治体ごとに取り組まれているので、各クラブで呼びかけて参加するか、個人で自覚的に参加していく。
5. 各保険への加入を呼びかけると共に、各クラブの協力を得ながら保険の加入状況について実態把握をしていく。
 - ・引き続き、クラブ員さんの各種保険等への加入を勧める。
 - ・スキー協賠償保険の加入を勧めていく。

京都スキー協2024年度一般会計予算案(2024/5/1～2025/4/30)

収入		支出		
項目	金額	項目	金額	
前期繰越金	339,066	連盟費	全国(920×98)	90,160
年会費(@3700×98)	362,600		関西(100×98)	9,800
印刷代	3,000		京都府連盟	137,200
行事余剰金	50,000		(1,400×98)	
雑収入	30,000		府連盟外参加負担金	1,000
			全国総会分担金	3,000
			小計	241,160
		事務所分担金(ロッカー代)	19,200	
		印刷代	20,000	
		郵送代	5,000	
		会議室使用料	35,000	
		活動費 補助	技術・指導員部	10,000
			競技部	10,000
			山スキー部	10,000
			企画部	10,000
			安全対策部	10,000
			機関紙部	10,000
			小計	60,000
		会議 交通費	関西ブロック会議	4,800
			運営委員会	30,000
			小計	34,800
		全国理事会参加補助	5,000	
		全国競技部会議参加補助	5,000	
		HPサーバー代	3,200	
		リーフレット代	6,000	
		zoom代金	22,110	
		予備費	328,196	
合計	784,666	合計	784,666	

京都スキー協2024年度別途積立会計

収入の部	
項目	金額
前期繰越金	642,095
一般会計繰出	0
合計	642,095

支出の部	
項目	金額
一般	0
次期繰越金	642,095
合計	642,095



